

もっと近づいてください。

SUNCO
INDUSTRIES
CO.,LTD

大阪市西区立売堀。

君は、わが社の前に立っている。

特にこれといって特徴のない会社。

君にはそんなふうに見えるのかもしれない。でも、
本当にそうでしょうか。

なかで当たり前のような顔して働いている社員が、
スゴイ技をもっているかもしれない。

平凡なOLに見えても、その1日にはたくさんの
ドラマがあるのかもしれない。

どこにもあるような会社に見えても、

ほかのどこにもない力をもっているかもしれない。

さあ、もっともっと近づいてみないと。

きっと君の心を動かす何かが見えるはずだから。

会社の表情が見えるから



急な発注に冷や汗かく営業マンを見事にフォローした連携プレー。

山口幸三 営業第1課 平成3年入社

営業第1課は地方担当。ほくは中部ブロックに約70社の得意先をもっていて、その中に名古屋でネジの卸をされてる三林商店さんがあります。パチンコ台のメーカーに納品されてるんですが、台の増産でネジが足りない。それでほくのほうに急いで追加発注があったんですが、まだ工場でネジが完成していない。あせりましたよ。

三林商店さん

あと1万本
なんとか頼むよ



Help me!

助かったあ。
ありがとう!

1万本!
どうにか
します

山口くんのあせり

「アカン!大抵のネジなら在庫で揃ってるのに、このサイズはない…。仕入課の東さんに頼んでみよう。それから課長に報告しよう」。



Situation



営業

上司の森課長に報告

仕入課の東さんに連絡

上司
森課長の判断

仕事の優先順位を見極めて、調整するのも上司の役目。そこで森課長は仕入課に電話を入れ「三林商店さんの分を最優先に」と、頼りになるサポートを。



営業アシスタントの南雲さんの気配り

1課でアシスタントする彼女。南雲さんが特定のお客様の商品手配中で席にいない…。他のお客様の電話応対や注文書の処理は私に任せてネ。

商品発送

仕入課
東さん走る



東さんはスグに工場に電話。すると翌朝一番にメッキを仕上げる、という返事。朝一番に車で商品を引き取りに行き、帰ってそのまま出荷。滑り込みセーフ!やった。

森課長のサポート電話



機械ができることは機械に任せて、 人間は人間らしい仕事をしていこう。



サンコーインダストリー
代表取締役 社長
奥山泰弘

在庫をしっかりと抱える これが成長の要因

現在、サンコーインダストリーは約4万6千種類の在庫を確保しています。この豊富な在庫が会社の大きな特徴であり、強さだといえるでしょう。なぜ、これだけ在庫があるのか。ひとつには、ネジはどこにでもあると思われがちなので、メーカーが最後に組み立てようとしてネジがない、ということが多い。そしてあわてて買いに行く。大抵は「待ってください」と言われるでしょう。でも私は、そこで早く渡してあげると喜ばれるだろう、と思うのです。喜んでもらえるとうれしい。結局、それを追求してきた結果、ここまでの在庫になったのではないかと思います。よく大阪の商売は儲け優先といわれますが、動機はけっこう純粋なんです。

また、ネジは流行のない商品だととらえられています。でも私は、かなり前からネジにも流行はあると思ってました。家電商品や車も多様化してます。それに使われるネジも変わって当たり前なんです。だから時には採算を度外視して、変わったネジの少量の注文にも応えてきました。こうした理由で在庫が増えたということもあります。そして、ほとんどの注文に応えられる体制ができた訳です。

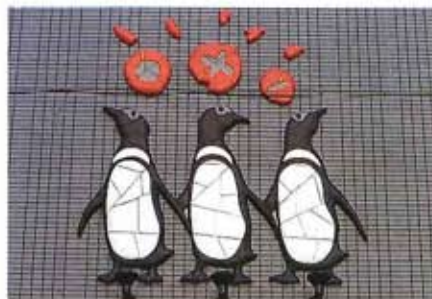
ネジは浮き沈みのない手堅い商品だといわれます。実際そうですが、その手堅さに甘えて、待ちのビジネスをしていたなら、サンコーインダストリーの業界の中でも際立った成長はなかったでしょう。



企業というのは社員の ためにあると思う

そのように在庫が増えたので必然的に機械化もコンピュータ化も業界に先駆けて進めることになりました。これからはパソコン、LAN、電子メールなどを積極的に導入していくことになるでしょう。

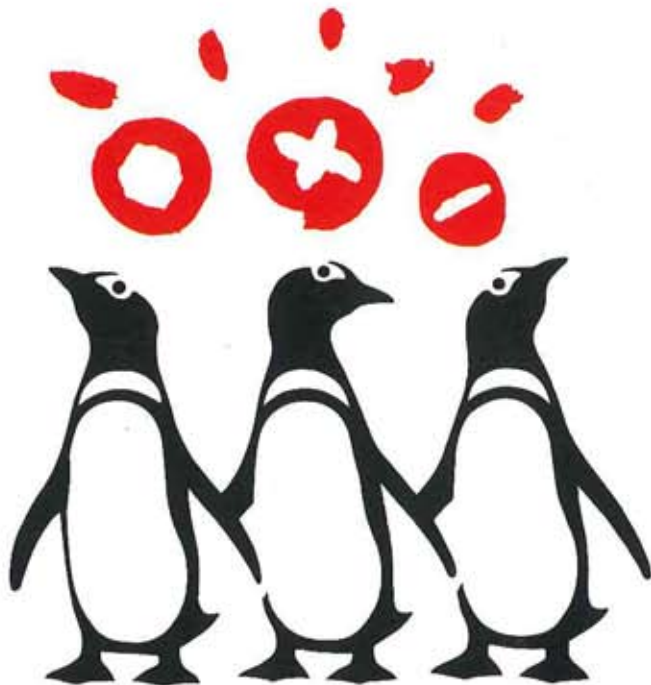
ただ機械化も根底にあるのは、人間は人間らしい仕事をしよう。機械にできることなら機械にさせようという発想です。私自身、1年間ほど倉庫の仕事をしていました。40kg位のネジの箱を肩にかついで2階に運ぶんですが、これは大変だった。その大変さを知ってるから、自動倉庫もつくったわけです。サンコーインダストリーは大企業ではありませんが、だからこそ運命共同体的な良さがあります。自分の子供が倉庫でしんどい仕事してるのを見たら、多少お金がかかっても親なら出すでしょう。それと同じなんです。私は、よく社員にいます。船会社は船をつくるためにある。でも本当は船大工さんに賃金を払うためにあるんじゃないか、と。企業というのは、社員のためにあるのだと思います。



Top
Interview



サンコー
インダストリー



会社のキャラクターであるこのペンギンたち、名前を「サンキュートリオ」といいます。左から「商品とサービスの品質の高さ」を表すQuality君、「迅速・すばやい対応」を表すQuick君、そして「追求、探究」を表してるQuest君。3つのQがそろると、やっぱりサンキューとなる。そうしてお客様から感謝されながら働くのは、とっても気持ちがいいものです。

SUNCO サンコーインダストリー株式会社

本社：〒550 大阪市西区立売堀1-9-28
☎0120-413512 (フリーダイヤル)

